

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①子ども一人ひとりが健康診断や体力・運動能力調査の分析に基づいて自分の生活を見つめ、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培う。②家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣を身に付ける。③子ども主体で計画された運動集会や、年間を通して縄跳びを中心に一校一実践運動を行い、日常的に運動に取り組む態度を養う。④学校全体で定期的にバランスイナワークに取り組み、食育に関する課題の共通理解を図り、給食指導に生かしたり、子どもの食に関する意識を高めたりする。
担当	保健・食育・体育

健やかな体に関わる本校の状況
<p>(1) 健やかな体に関わる児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業に意欲的に取り組む児童が多い。また、休み時間になると校庭に出て、ボールや遊具を使った遊びや、鬼遊びを男女関係なくしている児童が多い。 ・規則正しい生活を意識することができる一方、残食量が多かった。規則を守ろうとする意識は高かったが、廊下などでけがをしたりする児童がいる。 ・学区に公園が複数あり、放課後児童の遊ぶ姿が見られる。 <p>(2) これまでの学校の取組状況</p> <p>昨年度は、一校一実践運動が、時程等の関係から習慣化できる内容にできなかった。体力テスト等の結果を分析しつつ、本校の課題に合った取組にしていくために改善を図っている。</p> <p>(3) 体力の概要と要因の分析</p> <p>体力テストの結果を見ると、昨年度課題だった筋力系を中心に、継続して市平均を下回っており課題がある。本校の日常風景である休み時間や放課後の外遊びの頻度の高さに対して、これら基礎的体力の数値が低いのは、体の動かし方の幅が狭く、知識や経験が少ないことに起因するのではと考えられる。実際に、休み時間の遊びに偏りが見られ、多様な体の使い方が自然と身に付く状況には至っていない。日々の体育科の学習から、体づくり運動領域を中心とした基本的な運動を計画的に位置付けて取り組んだり、家庭も巻き込み、食育を中心とした体づくりに取り組んだりしていく必要がある。</p>

今年度の目標
<p>基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、子どもの食に関する意識や運動に取り組もうとする意識を高め、健康的な生活を送ろうとする態度を養う。</p>

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の保健目標を軸に、基本的な生活習慣を学校生活全体で意識できるように指導する。 ○運動の「時間・空間・仲間」を適切に確保し、継続して取り組める一校一実践運動に、運動委員会児童の発案を中心に、年間通して主体的に取り組んでいく。 ○学習カードやロイロノート等を積極的に活用して、自分の思いをもって体育学習に取り組めるようにする。 ○体育科の学習の中に友達と協同的に課題を解決する場面を設け、互いの違いに気付き、思いを大切に、それぞれが「する・見る・支える・知る」という様々なスポーツ(運動)の楽しさを感じられるようにする。 ○家庭科や体育科保健領域、食育や日々の給食指導を中心に、食から健康に意識を向けられるようにしていく。 ○体力テストやその他調査の結果を分析し、学校HPや学校だより等で家庭や地域に発信し、また、取組について工夫・改善を図っていく。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を自分から意識して生活できるようになることで、体力の向上や集中力が増すことに気付けるようにする。 ○「健康に過ごそう週間(仮称)」として、運動委員会が中心となり一校一実践運動のまとめとなる活動に取り組む、運動する楽しさや友達と一緒に運動する良さに気付き、さらに継続していけるようにする。 ○体育科の学習の中に友達と協同的に課題を解決する場面を設け、互いの違いに気付き、思いを大切に、それぞれが「する・見る・支える・知る」という様々なスポーツ(運動)の楽しさを感じられるようにする。 ○家庭科や体育科保健領域、食育や給食指導を通して、バランスの良い食事について考えられるようにする。 ○体力テストやその他調査の結果を分析し、学校HPや学校だより等で家庭や地域に発信し、また、取組について工夫・改善を図っていく。